

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2024年 第13週（3月25日～3月31日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 8週連続で増加」

第13週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,206例であり、前週比3.4%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.69、2.63、2.53、0.55、0.43である。

感染性胃腸炎は前週比8%減の928例で、南河内6.75、大阪市北部5.57、北河内5.44、中河内5.35、三島5.18であった。

RSウイルス感染症は18%増の520例で、大阪市北部5.36、南河内3.56、北河内3.52である。10ブロックで増加していた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は18%減の501例で、北河内3.92、大阪市南部3.50、南河内3.06であった。

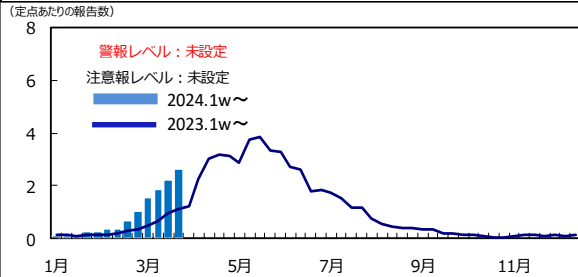
手足口病は58%増の109例で、大阪市南部1.11、泉州1.00、中河内0.65である。

流行性角結膜炎は22%増の22例で、南河内1.25、大阪市東部1.17、豊能0.75であった。

インフルエンザは19%減の1,254例で、定点あたり報告数は4.08である。堺市5.21、大阪市西部5.13、南河内4.96、三島4.78、北河内4.71であり、8週連続で減少している。

新型コロナウイルス感染症は5例増加の1,106例で、定点あたり報告数は3.60であった。北河内4.61、大阪市南部4.00、堺市3.97、大阪市北部3.95、南河内3.92であり、第12週まで7週続いていた減少が止まった。

RSウイルス感染症



新型コロナウイルス感染症

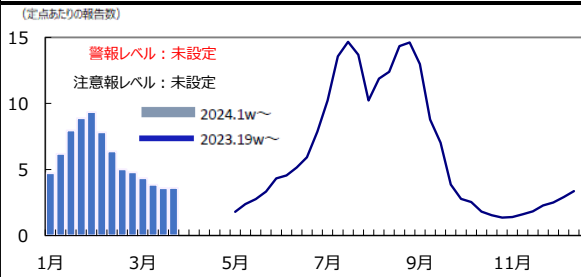


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第13週3月25日～3月31日）

第13週 の順位	第12週 の順位	感染症	2024年 第13週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2023年 第13週の 定点あたり 報告数	2024年第13週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	4.69	8%減	4.01	3歳_11%
2	3	RSウイルス感染症	2.63	18%増	1.12	1歳未満_33%
3	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.53	18%減	0.57	4歳_15%
4	5	手足口病	0.55	58%増	0.04	1歳_34%
5	6	流行性角結膜炎	0.43	22%増	0.12	20歳以上_64%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	4.08	19%減	1.69	10-14歳_23%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	3.60	増減なし	-	80歳以上_14%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

[詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降\(大阪府\)』の情報をご覧ください。](#)

[詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症\(大阪府感染症情報センター\)』の情報をご覧ください。](#)

突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第13週のコメント

～侵襲性肺炎球菌感染症～ 大阪府では、コロナ禍前の2019年までは毎年250例以上の報告がありました

全数把握感染症	
侵襲性肺炎球菌感染症	
<p>侵襲性肺炎球菌感染症は、感染症法上、肺炎球菌 (<i>Streptococcus pneumoniae</i>) による感染症のうち、この菌が髄液又は血液等の無菌部位から検出された感染症のことをいう。髄膜炎、菌血症を伴う肺炎、敗血症などが特に問題とされており、小児および高齢者を中心に患者報告がある。抗菌薬が有効であるが、近年薬剤耐性菌も多く報告されている。侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチンの接種が有効である。小児および高齢者への定期接種が実施されており、また、64歳以下で肺炎球菌による重症化の危険性が高い人への接種が重要である。</p> <p>侵襲性肺炎球菌感染症（大阪府感染症情報センター） 肺炎球菌感染症（高齢者）（厚生労働省） 肺炎球菌感染症（高齢者）（国立感染症研究所）</p>	<div style="text-align: center;"> <h3>年別累積報告数（大阪府）</h3> </div>

表2. 大阪府全数報告数（2024年 第13週3月25日～3月31日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	1								1	22
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2			1				1		38
	後天性免疫不全症候群	1				1					22
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1			1						16
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1		1		1				65
	梅毒	5	1		1					3	357
結核 (2024年1月分)	結核 新登録患者数：76名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 30名) (府内累積報告数 76名、内 肺・喀痰塗抹陽性 30名)										

(2024年4月2日 集計分)